

基礎目標	社会的に自立した人を育てる	第1四半期
------	---------------	-------

区分	成果指標・KPI	単位	基準値	年度目標値	現在実績値	対前年同期
成果指標	自分を尊重できる人の割合（小・中）	%	84.3	86.5	82.9(R5)	△1.1
	地域に愛着がある人の割合	%	72.5	76.0	75.2(R5)	+6.1
政策1	①学校が楽しいと感じる子供の割合	%	87.25	89.5	85.3(R5)	+0.1
	②夢や目標を持つ子供の割合	%	78.5(R5)	79.3	-	-
政策2	①月に3冊以上本を読む子供の割合	%	—	72	72.2(R5)	+3.5
	②体育施設利用者数（延べ人数）	人	124,180	126,000	24,699	△2,178
政策3	①コミュニティスクール設置学校数	校	0	6	4	±0
	②地域活動等への参加意識がある人の割合	%	55.3	57.5	62.1(R5)	△2.4

実施内容・成果の総括	次期四半期以降への方針
<p>1 ①母子保健事業の中で、育脳についてや親と子のふれあい手遊びなどを実施し普及啓発を図った。</p> <p>①ICT支援員のサポートにより、WEB-QUを全小中学校で6月までに実施した。</p> <p>①町スクールソーシャルワーカーが定期的に全小中学校を巡回するとともに、要請により保護者及び家庭との相談を行った。</p> <p>①各学校において、ICT支援員のサポートや、AIドリルの新機能を紹介し、デジタル教科書やAIドリルの活用を進めた。</p> <p>①各中学校に配置された学力向上推進リーダーの役割や、コーディネーターとの連携した授業づくりについて計画した。</p> <p>①全国学力調査・とちぎっ子学力調査・町独自の学力テストを実施した（4/18）。</p> <p>②各・小中学校とも、児童会・生徒会による主体的な活動として挨拶運動を実施した。</p> <p>②小学4年生の宿泊学習（田野小）、中学1・2年生の宿泊学習を実施することができた。（田野小4年6/27～6/28、田野中1・2年5/29～30）（益子中1・2年5/22～23、七井中1年5/27～28、2年5/31～6/1）</p> <p>2 ①ましこいきいきトライやるスクールの希望者24名の申込みがあった。昨年比3名減。</p> <p>①移動図書館とつくん号のお話会には3回で合計71人が参加した。貸出冊数は3か月間56回の運行で合計2,027冊であった。とつくん号が軌道に乗ってきている。</p> <p>①中学生への英検3級以上の補助金は申請合計が27件であった。（昨年同時期30件）</p> <p>②体育施設の利用者は6月までに24,699名だった。前年よりは2,178名少ない状況である。</p> <p>②「ましこチャレンジクラブ」への参加者は360名で、前年同期比-24名である。</p> <p>3 ①田野小・田野中・七井中・益子中で「学校運営協議会」を開催した。</p> <p>②令和6年度の「ましこ未来大学」が益子芳星高校2年生29名参加で、4月17日に開講した。</p>	<p>1 ①実施内容の充実に努め、保護者の思いに寄り添い、安心して子育てできる地域づくりに努める。</p> <p>①WEB-QUの結果を有効に活用するため、研修会を実施し、よりよい学級づくりを支援する。</p> <p>①町と県のスクールソーシャルワーカーの定期的な情報交換会をもち、効果的な指導助言ができるように努めていく。</p> <p>①各学校間で、タブレットの活用について情報共有し、授業において効果的に活用できるようにしていく。</p> <p>①すべての小中学校で、「主体的・対話的で深い学び」の視点での授業改善に向けて授業研究会や研修会を実施していく。また、学力向上検討委員会を開催し、授業づくりの支援をしていく。</p> <p>①7月・8月に、結果の確認ができるので、分析して、学校ごとに対策を立て、実践をする。</p> <p>②児童や生徒が主体的にあいさつ運動を行っており、今後も継続することにより、児童生徒の成長につなげていきたい。</p> <p>②すべての学校で宿泊学習を計画している。子ども主体の活動として今後も充実感のある体験の機会を与えていく。</p> <p>2 ①1回目は「防災について考えてみよう」に8名が参加した。今後益々参加者を増やして活性化したい。</p> <p>①移動図書館については保育園・認定こども園・小中学校に定期的に運行しており、馴染んできたが、利用者数と貸し出し数の増加を目指すとともに、読書の習慣を身に付けさせたい。</p> <p>①英語教育の充実のため、今後も中学生の英検3級以上受験を呼びかけていく。</p> <p>②今後も、運動の機会を増やし健康作りに繋げていきたい。</p> <p>②チャレンジクラブについて、更にお知らせ版で随時、会員を募集していく。</p> <p>3 ①4校の学校運営協議会の充実に向けて支援していく。未設置の3校についても準備していく。</p> <p>②益子町の特色や課題を理解していくことにより、将来の町づくりの担い手として育てていくよう町民大学修了生の協力を得ながら進めていく。</p>

基礎目標	社会的に自立した人を育てる	第2四半期
------	---------------	-------

区分	成果指標・KPI	単位	基準値	年度目標値	現在実績値	対前年同期
成果指標	自分を尊重できる人の割合（小・中）	%	84.3	86.5	82.9(R5)	△1.1
	地域に愛着がある人の割合	%	72.5	76.0	75.2(R5)	+6.1
政策1	①学校が楽しいと感じる子供の割合	%	87.25	89.5	85.3(R5)	+0.1
	②夢や目標を持つ子供の割合	%	78.5(R5)	79.3	-	-
政策2	①月に3冊以上本を読む子供の割合	%	—	72	72.2(R5)	+3.5
	②体育施設利用者数（延べ人数）	人	124,180	126,000	52,177	△1,443
政策3	①コミュニティスクール設置学校数	校	0	6	4	±0
	②地域活動等への参加意識がある人の割合	%	55.3	57.5	62.1(R5)	△2.4

実施内容・成果の総括	次期四半期以降への方針
<p>1 ①母子保健事業やましこココハウスの活動の中で「育脳について」や親と子のふれあい手遊びなどを実施し普及啓発を図った。</p> <p>①WEB-QU研修会を実施し、教員15名が参加した。結果の見方や対策について確認した。</p> <p>①町スクールソーシャルワーカーが定期的に全小中学校を巡回するとともに、要請により保護者及び家庭との相談を行った。</p> <p>①ICT支援員による活用研修会を、各学校のニーズに合わせて全小中学校で2～3回実施した。</p> <p>①育脳プログラムとスタートカリキュラム作成研修会を実施し、幼保から小学校への接続について考える機会となった。</p> <p>②各小中学校とも、児童会・生徒会による主体的な活動として、今期も挨拶運動を実施した。（7月・9月）</p> <p>②小学校から中学校まで、全児童生徒がキャリアパスポートの作成を行い、次の学年に引き継ぐことができるようにしている。</p> <p>2 ①移動図書館車「とっくん号」のお話会には3回で合計56人の参加があり今年度合計127名になった。貸出冊数は3か月間に52回の運行で合計1,890冊であった。今年度合計は108回の運行で貸出は3,917冊になった。</p> <p>①外国語教育については、ALTと専科教員による授業作成や授業改善研修により充実を図った。</p> <p>②体育施設の利用者は9月までに52,177名だった。前年よりは1,443名少ない状況である。</p> <p>②トレーニング室の利用者講習会は3か月で49名が受講した。今年度合計112名となった。</p> <p>②「ましこチャレンジクラブ」への参加者は365名で、前年同期比+42名である。</p> <p>3 ①田野小・七井中・益子中・田野中の4校で「学校運営協議会」が行われ、各学校においてコミュニティスクールの取組が行われている。</p> <p>②ジュニアリーダーズクラブとしてましこいききトライやるスクールに参加した。</p> <p>②益子芳星高校生が対象の「ましこ未来大学」は、7月、9月にそれぞれ4日ずつ開催した。</p>	<p>1 ①教職員等を対象とした研修会や、町民を対象とした講演会を行ったが、引き続き実施内容の充実に努めていく。</p> <p>①WEB-QU研修を生かし、後期の学級経営の充実を図れるよう支援していく。</p> <p>①町と県のスクールソーシャルワーカーの定期的な情報交換会をもち、効果的な指導助言ができるように努めていく。</p> <p>①教師や児童生徒が効果的にタブレットPCを活用できるよう引き続き支援していく。</p> <p>①研修会には16名の先生が参加した。今後は、スタートカリキュラムの作成と、幼保小の連携をさらに深めていく。</p> <p>②児童や生徒が主体的にあいさつ運動を行っており、今後も継続することにより、児童生徒の成長につなげていきたい。</p> <p>②各校と児童・生徒に関する情報交換を行い、キャリア教育について効果的な指導が行えるよう支援していく。</p> <p>2 ①移動図書館車については保育園・認定こども園・小中学校に加え、夏季休業中は道の駅ましこ等に運行しており、今後も本に触れる機会を増やして、町民の読書活動の充実を図りたい。</p> <p>①今後も小学生の外国語教育の充実のため、指導者の指導力の向上を図れるよう、引き続き授業支援を行っていく。</p> <p>②体育施設の利用については、熱中症対策をしながらの利用が続いたが、運動しやすい季節になるので、利用者の増加を呼びかけていく。</p> <p>②チャレンジクラブについて、広報ましこやお知らせ版で施設やスポーツ団体の紹介、広報活動を進めていく。</p> <p>3 ①各学校において、学校安全や地域と子どものたちのかかわりなどについて協議し、地域とともにある学校への取り組みを進めていく。</p> <p>②有意義な活動とするため、引き続きいきいきトライやるスクールへの参加を継続する。</p> <p>②12月の町民のつどいで実施する「駄菓子屋学校」のアクションプランの企画立案を進める。</p>

基礎目標	社会的に自立した人を育てる	第3四半期
------	---------------	-------

区分	成果指標・KPI	単位	基準値	年度目標値	現在実績値	対前年同期
成果指標	自分を尊重できる人の割合（小・中）	%	84.3	86.5	82.9(R5)	△1.1
	地域に愛着がある人の割合	%	72.5	76.0	75.2(R5)	+6.1
政策1	①学校が楽しいと感じる子供の割合	%	87.25	89.5	85.3(R5)	+0.1
	②夢や目標を持つ子供の割合	%	78.5(R5)	79.3	78.5(R5)	-
政策2	①月に3冊以上本を読む子供の割合	%	—	72	72.2(R5)	+3.5
	②体育施設利用者数（延べ人数）	人	124,180	126,000	77,938	△1,468
政策3	①コミュニティスクール設置学校数	校	0	6	4	±0
	②地域活動等への参加意識がある人の割合	%	55.3	57.5	62.1(R5)	△2.4

実施内容・成果の総括	次期四半期以降への方針
<p>1 ①母子保健事業の中で、育脳についてや親と子のふれあい手遊びなどを実施し普及啓発を図った。</p> <p>①全小中で2回目のWEB-QUを実施した。</p> <p>①町スクールソーシャルワーカーが定期的に全小中学校を巡回するとともに、要請により保護者及び家庭との相談を行った。</p> <p>①学力向上コーディネーター派遣事業で益子西小と益子中、七井中で2回、田野小、益子小、田野中でそれぞれ1回授業研修を行った。</p> <p>②各小中学校とも、児童会・生徒会による主体的な活動として、今期も挨拶運動を実施した。（10月・12月）</p> <p>②3中学校の日程を揃えてマイチャレンジ推進事業を11/20～21に行なった。町内の多くの事業所に協力いただき2年生にとって十分な成果があった。</p> <p>2 ①「とっくん号」のお話会には3回で合計64人の参加があり今年度合計191名になった。貸出冊数は3か月間に55回の運行で2,032冊であった。今年度163回の運行で貸出は5,949冊になった。</p> <p>①巡回伝統芸能公演事業「落語～はなしの伝統芸能」を田野小（10/23）で、学校訪問演奏事業を七井小（11/19）で実施した。また、英検受検料の補助金45件の交付を行った。</p> <p>②町駅伝競走大会（11/10）、芳賀郡市民スポーツ交流大会（11/24）、はが路ふれあいマラソン（12/15）を開催した。</p> <p>②体育施設の利用者は12月までに77,938名だった。前年よりは1,468名少ない状況である。</p> <p>②「ましこチャレンジクラブ」の会員は387名で、前年同期比+31名である。</p> <p>3 ①田野小・七井中・益子中で「学校運営協議会」が行われた。また、未導入校に対し学校運営協議会導入に関する説明を行った。</p> <p>②「ましこ未来大学」では、12/7の町民のつどいの中で「駄菓子屋楽校」の実践発表を行い、約270名の来場者があった。</p> <p>②ジュニアリーダーズクラブとしてましこいきいきトライやるスクール（10/19）に参加した。</p>	<p>1 ①保健事業実施内容の充実に努め、保護者の思いに寄り添い、安心して子育てできる地域づくりに努める。</p> <p>①2回目のWEB-QU結果と6月の結果と比較分析し、3学期の学級経営の充実に図れるよう支援していく。</p> <p>①県学力向上コーディネーター派遣事業及び学力向上推進リーダー事業で、各学校の学力向上改善プランをもとに、研究授業や授業研究会の結果を検証し、教師の指導力向上を図っていく。</p> <p>②児童や生徒が主体的にあいさつ運動を行っており、今後も継続することにより、児童生徒の成長につなげていく。</p> <p>②日程を揃えたので、3中学校が連携しながら実施することができた。今後も充実した活動ができるよう継続していく。</p> <p>2 ①移動図書館車については幼保小中を中心に運行しているが、貸出数に差があるので、今後も利用を呼びかけていき、町民の読書活動の充実を図りたい。</p> <p>①落語や訪問演奏事業については、日本の伝統芸能に親しみ、生のクラシック音楽に触れるよい機会となった。次年度も町内学校で継続して実施できるよう努める。</p> <p>②町駅伝競争大会を行い前年度より9チーム多い39チームの参加があった。コースを変更して2回目の開催であり、適切に運営することができた。次年度につなげていきたい。また、芳賀郡市民スポーツ交流大会についても、関係市町と情報を共有し、スムーズに開催することができた。</p> <p>②体育施設の利用、チャレンジクラブについては、今後も広報活動を進めていく。</p> <p>3 ①学校運営協議会は各委員が学校を知る機会となっており、学校の活性化について議論が深まってきたので、すべての学校において今年度中の導入を目指す。</p> <p>②高校生が考えた「駄菓子屋楽校」には、子どもからお年寄りまでの幅広い年代の人が訪れ、楽しみながら交流を図ることができた。次年度については、新たな企画も検討していきたい。</p>

基礎目標	社会的に自立した人を育てる	第4四半期
------	---------------	-------

区分	成果指標・KPI	単位	基準値	年度目標値	現在実績値	対前年同期
成果指標	自分を尊重できる人の割合（小・中）	%	84.3	86.5	84.8	+1.9
	地域に愛着がある人の割合	%	72.5	76.0	65.7	△9.5
政策1	①学校が楽しいと感じる子供の割合	%	87.25	89.5	90.05	+4.75
	②夢や目標を持つ子供の割合	%	78.5(R5)	79.3	75.0	-
政策2	①月に3冊以上本を読む子供の割合	%	—	72	69.3	△2.9
	②体育施設利用者数（延べ人数）	人	124,180	126,000	105,187	+224
政策3	①コミュニティスクール設置学校数	校	0	6	4	±0
	②地域活動等への参加意識がある人の割合	%	55.3	57.5	61.1	△1.0

実施内容・成果の総括	次期四半期以降への方針
<p>1 ①母子保健事業やましこココハウスの活動の中で、育脳や親子のふれあい遊びを実施した。</p> <p>①町スクールソーシャルワーカーが定期的に全小中学校を巡回するとともに、要請により保護者及び家庭との相談を行った。</p> <p>①学力向上コーディネーター派遣事業では、七井小で授業研修を行った。</p> <p>①学力向上検討委員会を実施し、今後の学力向上推進に向け議論した。</p> <p>②各小中学校とも、児童会・生徒会による主体的な活動として、今期も挨拶運動を実施した。</p> <p>②キャリアパスポートを作成し、キャリア教育の充実を図った。</p> <p>②各学校への部活動外部指導者派遣事業について年間を通して計画的に行った。</p> <p>2 ①「とっくん号」のお話会には3回で合計46人の参加があり今年度合計237人になった。移動図書館の貸出冊数は3か月間に57回の運行で1,947冊であった。今年度220回の運行で貸出しは7,896冊になった。</p> <p>①中学3年生の英検受験率は33.5%、3級取得者は22名、取得率は12.9%であった。</p> <p>②体育施設の利用者は、105,187名で、前年度と比較して+224名の状況である。</p> <p>②トレーニング室の利用者講習会は、3か月で35名が受講した。今年度合計191名となった。</p> <p>②「ましこチャレンジクラブ」の会員は392名で、前年同期比+32名である。</p> <p>②ソフトテニス教室を開催、50名が参加、バドミントン教室を開催、49名の参加があった。</p> <p>3 ①田野中・益子中・七井中・田野小で「学校運営協議会」が行われた。また、残り3校の設置に向け準備を進めた。次年度に向けて、コミュニティスクールの研修会も実施した。</p> <p>②ジュニアリーダーの団員確保のため、郡内の市町や芳賀教育事務所と連携しチラシを配布するなどPRを行った。</p> <p>③益子芳星高校の未来大学は1月に活動発表と閉校式を行った。</p>	<p>1 ①育脳の普及啓発を図り、安心して子育てができるような地域づくりに努めていく。</p> <p>①町スクールソーシャルワーカーが、配慮が必要な児童生徒との情報交換や、保護者への相談支援を継続して実施していく。</p> <p>①学力の向上については、全校に学力向上推進リーダーが配置されたため、「授業改善チェックシート」の活用により授業改善が図られたてきている。次年度も引き続き実施していきたい。</p> <p>②キャリア教育の充実については、キャリアパスポートを継続的に作成し、小中学校で連携し実施していく。</p> <p>②部活動外部指導者の派遣により、部活動等の活性化と生徒一人ひとりの技能向上が図られるよう支援していく。</p> <p>2 ①不読率は5.5%となり前年度と比較して1.5ポイント上昇し、月に3冊以上本を読む割合は69.3%前年度と比較して2.9ポイント減少、目標の72%を下回った。図書室や学校図書の充実、移動図書館の実施により改善を目指す。</p> <p>①外国語教育の充実については、専科教員、ALTの配置や英検補助制度により行っていく。</p> <p>②体育施設の利用者数については、人口減少が進むなか、前年比微増と健闘した。チャレンジクラブの加入促進支援や、トレーニング室利用者講習会の開催、スポーツ教室の開催など、総合的な対策により、利用促進につなげたい。</p> <p>②スポーツ教室については、一流の技術を持つ講師から指導を受けることにより、スポーツに対する興味と将来への夢を持たせることができた。継続していきたい。</p> <p>3 ①令和7年度から益子小、益子西小、七井小に学校運営協議会を設置することが承認され、すべての学校がコミュニティスクールとなる。円滑な協議会運営ができるよう支援していく。</p> <p>②ジュニアリーダーズクラブ会員募集はチラシ配布などPRを継続していく。</p> <p>②未来大学は、世代間交流や住民とのかかわりをもつことで、高校生のまちづくりに対する意識改革につなげていく。</p>